

## 10月3日：VN 指数パニック売りで下落 (VN-Index -3.22%)

- 前日わずかに上昇していたが、上昇モメンタムは維持できず、指数はすぐに下落方向へと動いた。
- 為替相場の上昇（ドン安）が、SBV が金利の引き下げを維持できないのではないかという懸念となり、相場の重しとなった。
- 売りは広がり、金融サービスセクター、銀行、不動産、鉄鋼といった主要セクターが大きく下落した。
- 水産加工業は午前中に買いが集まっていたが、午後の売り圧力で同セクターも最終的に下落した。
- 37 銘柄のみが上昇、481 銘柄が下落、変わらずは 34 銘柄だった。下落銘柄の内の 57 銘柄はストップ安だった。
- 流動性は大きく改善し、売買代金は 21 兆ドンだった。

## VN30 指数採用銘柄に上昇銘柄が無し (VN30 -3.11%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 29 銘柄が下落、1 銘柄（HDB）が変わらずだった。
- BID (-5.46%)、GVR (-6.86%)、HPG (-5.34%)、MWG (-5.59%)、SSI (-5.92%)、POW (-4.68%)、VIC (-5.12%) などの主要銘柄大きな下落となった。

## セクター・個別株の動き

- FMC (+0.2%) は、9月の売上が前年同月比で 25%増となったことから堅調な値動きだった。
- YEG (+6.67%)、RDP (+6.64%) はストップ高。どちらも既存株主への割当増資の計画を発表している。

- 外国人投資家は 1,600 億ドルの売り越しとなった。CTG (-2.84%) と VPB (-3.67%) が売られていた。一方、DPM を除き、特に目立った売り越し銘柄はなかった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。